

「定年後の夫婦 2 人の暮らし方」調査について

— 『シングルミックス』の新たな終のすみかが浮上 —

2007 年 11 月 13 日
株式会社住環境研究所

積水化学工業株式会社 住宅カンパニー（プレジデント：東郷逸郎）の調査研究機関である株式会社住環境研究所（所長：高関哲也）は、このほど「定年後の夫婦 2 人の暮らし方」調査を行いました。昨年の「老後の理想の住まい」調査に続くもので、今回は定年後の夫婦 2 人の暮らし方に着目しての調査です。熟年離婚が社会現象になるなど妻と夫の意識のズレが問題となっていますが、定年後の夫婦の妻と夫の生活意識にスポットを当て、暮らし方やこれからの住まいに望むことなどを探ってみました。

調査結果のポイント

<意識面>

■夫婦の暮らし方意識

現在は「干渉しない派」59%、「夫婦一緒派」22%、将来は「干渉しない派」39%、「夫婦助け合い派」41%に逆転。

■夫婦満足度/配偶者に求めること

7 割は満足。妻が夫にもとめることは「自立して欲しい」。夫が妻に求めることは「健康でいて欲しい」。

■個人としての暮らし方

「友人との交流」「社会との接点」は積極的に。
住みたい場所は、「田舎でのんびり」「都会で活動的に」の 2 極化。

<建物・空間面>

■専用に欲しい空間と寝室の希望

「趣味」69%「くつろぎ」45%「テレビを見る」34%。
女性は特に「専用空間の確保」と「別々の寝室」を希望。

■共有・一緒によい空間

男性 68%、女性 64%で共に「食事」の場がトップ。

■理想の住まい

男性は「平屋派」41%、女性は「マンション派」43%。やはり、ワンフロアが人気。

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社住環境研究所 市場調査研究室 嘉規（かき） TEL. 03-3256-7571
〒101-0041 千代田区神田須田町 1-1 三井あさひビル

調査の概要

調査目的：中高齢夫婦 2 人に対して、定年後の暮らしと住まいについて、夫婦意識や生活意識にスポットを当て住まいに望むことを把握

調査方法：インターネット調査

調査時期：2007 年 9 月 7～9 日

調査対象：全国の 55 歳以上の男女 1000 人（東阪名：500 人、その他：500 人）
※ 本文中の数字は、全てパーセンテージ（%）

アンケート回答者の属性

1. 社会属性

年齢：50 歳代後半 53%、60 歳代前半 23%、65 歳以上 24%

性別：男性 65%、女性 35%

家族構成：単身 8%、夫婦のみ 37%、夫婦＋子 36%、夫婦（または単身）＋親 5%、夫婦＋子＋親 6%、夫婦＋子＋孫 3%、その他 5%

家族のライフステージ：長子が大学生・社会人の成熟期 42%、子供が独立し夫婦のみの隠遁期 39%、その他 19%

配偶者の有無：配偶者あり 86%。男性は配偶者あり 90%、女性は配偶者あり 77%

職業：無職は全体で 21%、年齢層別では 58～59 歳 7%、60～64 歳 23%、65 歳以上 53%

2. 建築属性

住居形態：持家戸建て 64%、持家マンション 20%、賃貸マンション 7%、公団・公営 5%、賃貸戸建て 3%

築年数(持ち家)：10 年未満 17%、10～14 年 13%、15～19 年 15%、20～24 年 16%、25～29 年 17%、30 年以上 22%

調査結果の概要

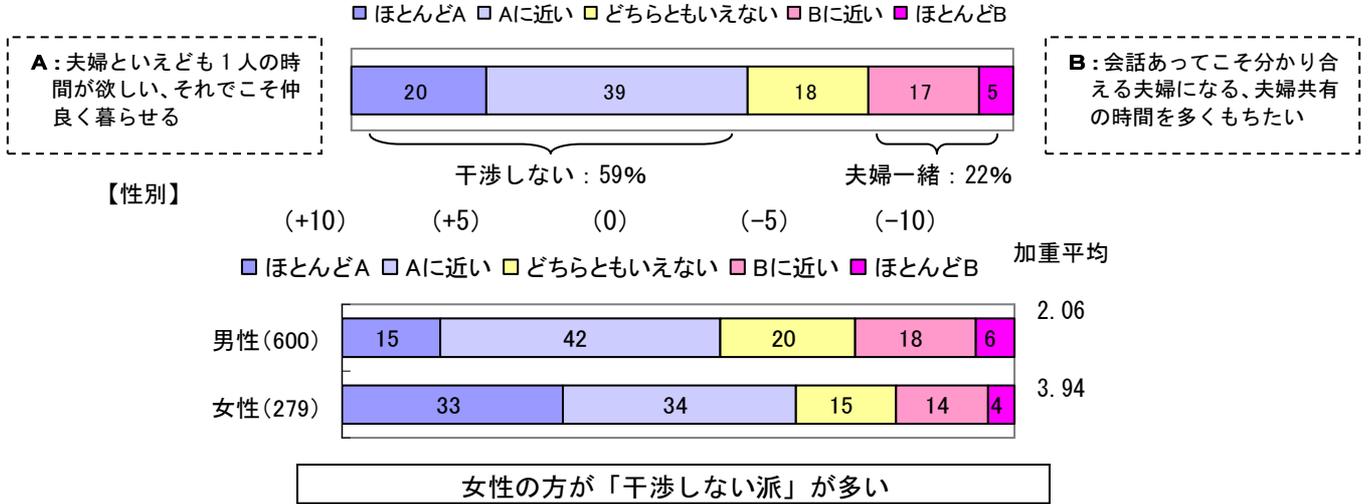
1. 夫婦の暮らし方意識／現在と将来

現在の暮らし方意識を聞いたところ、お互いに干渉しないで自分のやりたいことをしたいという「干渉しない派」が59%、「夫婦一緒派」が22%。干渉しない派が主流となっています。

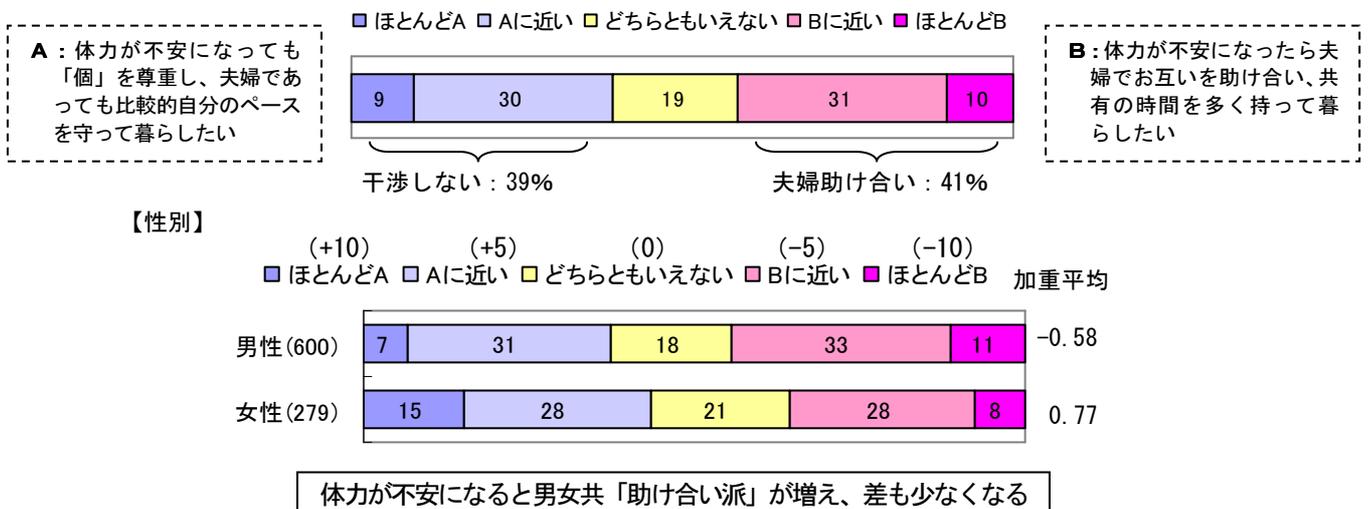
将来、「体力が不安になっても個を尊重し、夫婦であっても比較的自分のペースを守って暮らしたい」（干渉しない派）、「体力が不安になったら夫婦でお互いを助け合い、共有の時間を多く持って暮らしたい」（夫婦助け合い派）どちらに近いかを聞いたところ、「干渉しない派」39%、「夫婦助け合い派」41%。体力が不安になると「夫婦助け合い派」が逆転します。

■現在、暮らし方意識

【全体 (N=879)】

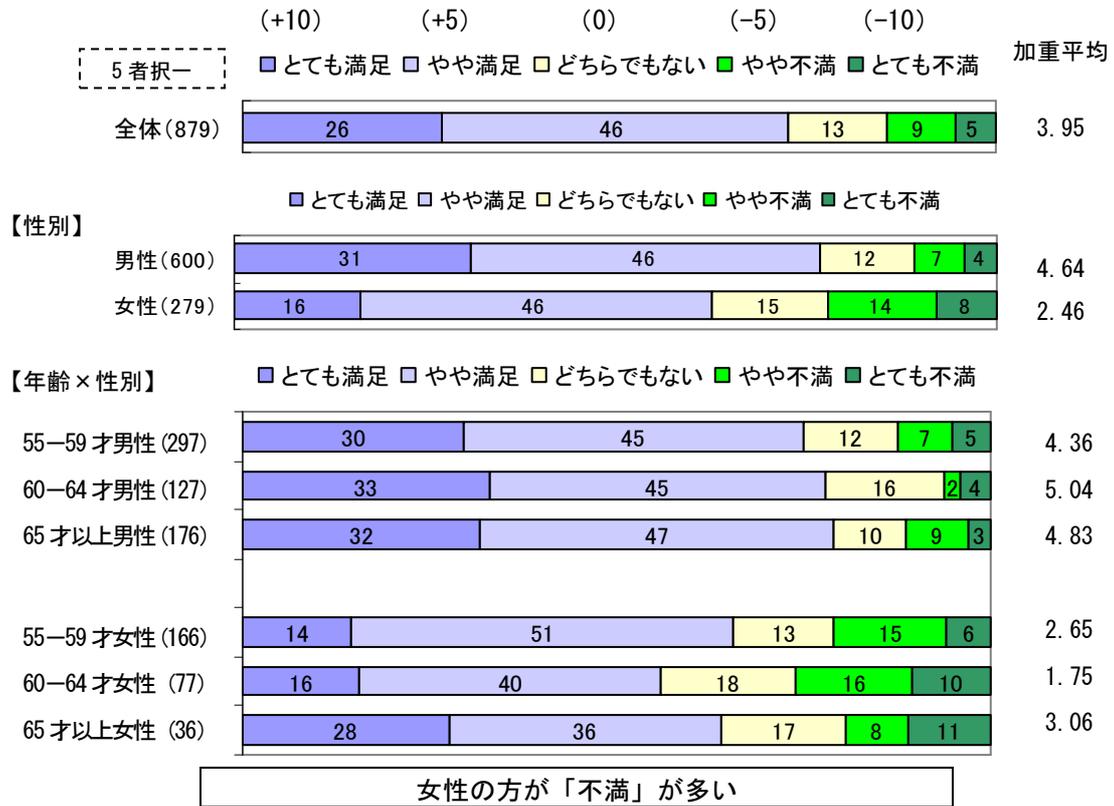


■将来、体力が不安になった時の暮らし方意識



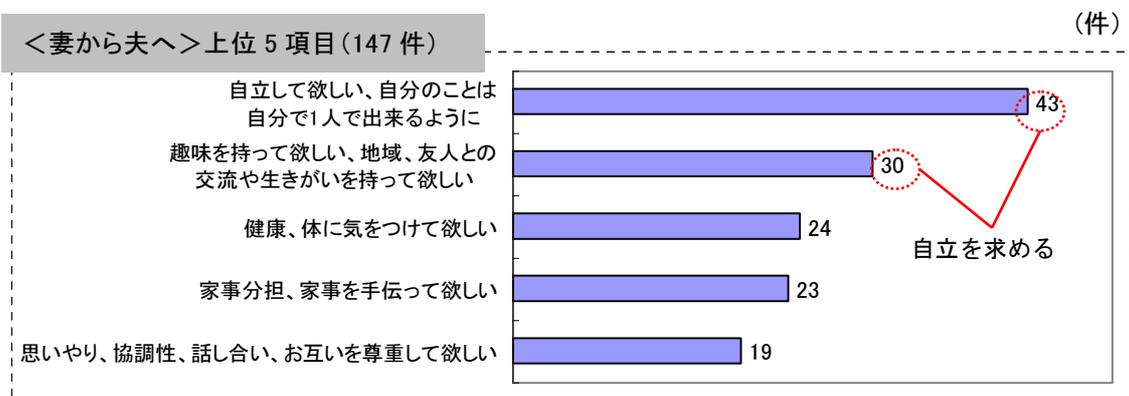
2. 夫婦満足度

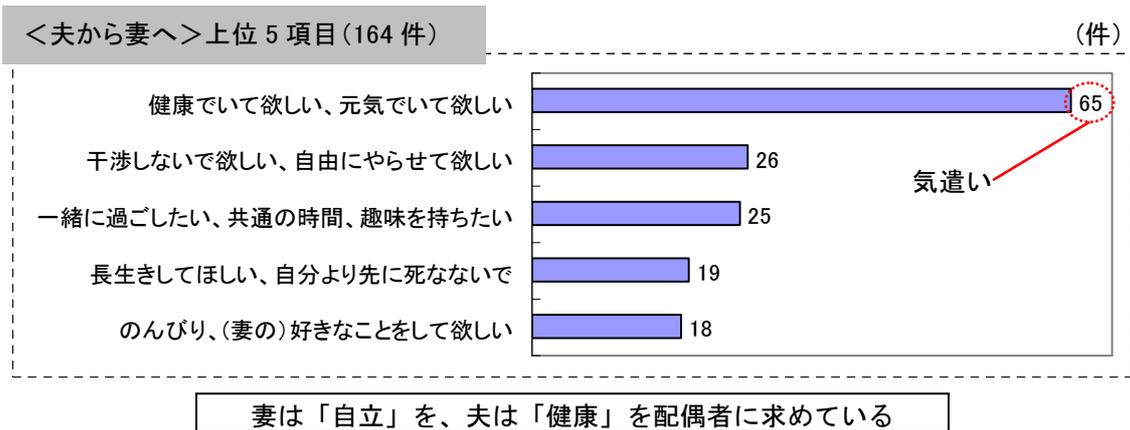
夫婦の満足度は72%（とても満足26%、やや満足46%）、男女では差があり、男性77%満足に対し、女性62%。年齢別では女性60-64歳で満足が56%と最も低くなっているのが注目されます。夫の退職により急に暮らしが変わることが影響していると思われます。



3. 妻から夫へ、夫から妻へ（配偶者へ求めること／自由回答）

定年後、配偶者にもとめることを自由回答で聞いたところ、妻が夫に求めることは「自分のことは1人でできるように」43件、「趣味を持って欲しい」「地域、友人との交流をもって欲しい」30件など、自立を求める内容となっています。一方、夫から妻に求めることは「健康で元気でいて欲しい」65件「干渉しないで自由にやらせてほしい」26件など、圧倒的に健康に関する内容が多いのが特徴的です。





4. 個人としての暮らし方

友人・知人との交流、社会との接点、住みたい場所の3点に注目して定年後の暮らし方を調査。「友人との交流は積極的に行ないたい」と「社会との接点を持ち続けたい」は59%、49%と高い結果でした。一方、住みたい場所は、「田舎でのんびり」31%、「都会で活動的に」31%の2極化しています。

年齢×性別では、「友人との交流は積極的」男55-59才で53%、65歳以上で60%と8ポイント上昇、「都会で活動的に過ごしたい」では、男55-59才21%、65才以上33%と12ポイント上昇します。男性では高齢層でより活動的になる傾向が見られます。

【全体(N=879)】

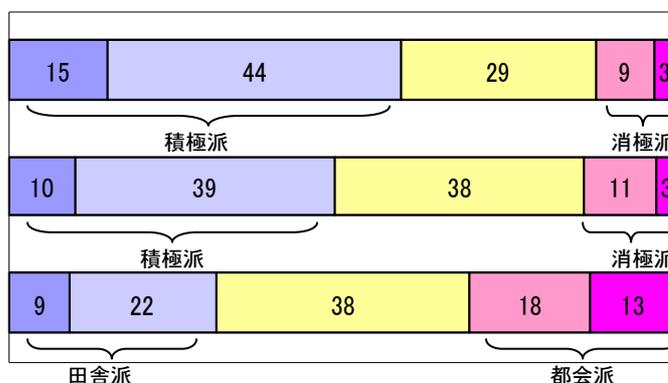
(+10) (+5) (0) (-5) (-10)

■ほとんどA □Aに近い □どちらとも □Bに近い ■ほとんどB

A: 友人、知人との交流は大切にしたい、積極的に交流を行ないたい

A: 定年後、老後も仕事やボランティア、地域活動などを行い社会との接点を持ち続けたい

A: 老後は自然の豊かな田舎でのんびりと過ごしたい



B: 友人、知人との交流はほどほどでよい交流は最低限でよい

B: 定年後、老後は完全に引退し特に社会と接点を持ち続けたいとは思わない

B: 老後は文化施設などが充実している都会で活動的に過ごしたい

加重平均

2.90

2.12

-0.16

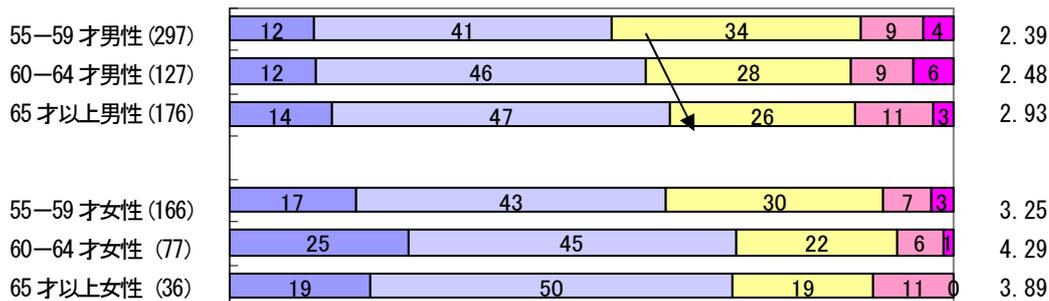
■友人との交流

A: 友人、知人との交流は大切にしたい、積極的に交流を行ないたい

B: 友人、知人との交流はほどほどで、良い交流は最低限

(+10) (+5) (0) (-5) (-10)

■ほとんどA □Aに近い □どちらとも □Bに近い ■ほとんどB 加重平均

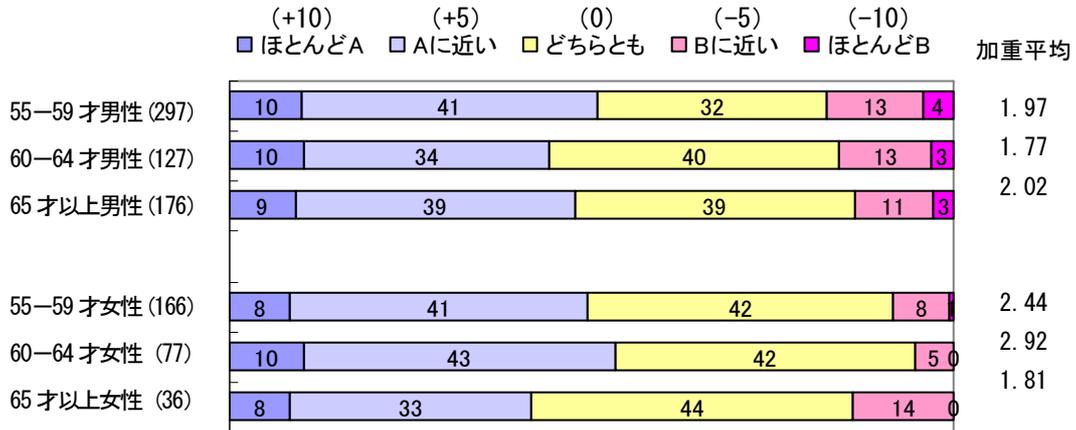


男性は、年齢が上がるつれ交流を望んでいる

■ 社会との接点

A : 定年後、老後も仕事やボランティア、地域活動など行い社会との接点を持ち続けたい

B : 定年後、老後は完全に引退し特に社会との接点を持ち続けたいとは思わない

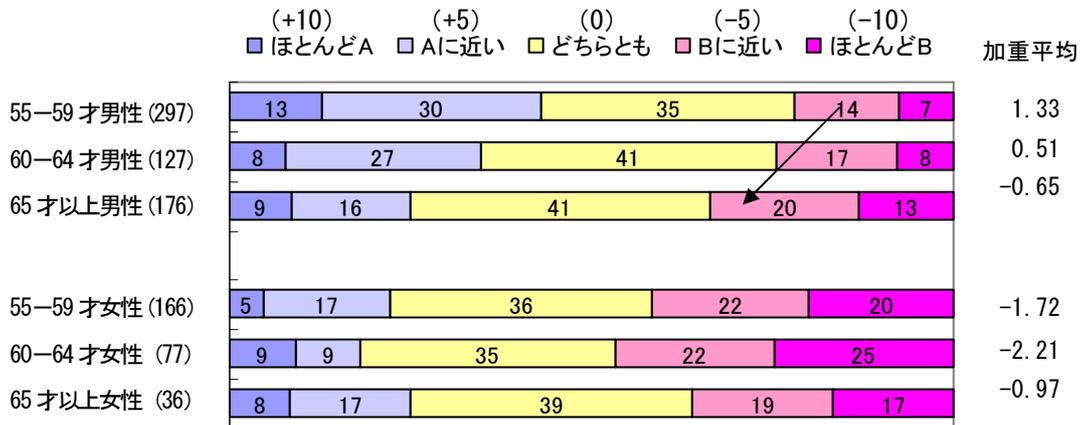


男女共に年齢で差はあまりなく、積極的に「社会との接点を持ち続けたい」

■ 定年後に住みたい場所

A : 老後は自然の豊かな田舎でのんびりと過ごしたい

B : 老後は文化施設などが充実している都会で活動的に過ごしたい



男性では年齢が上がるにつれ都会で活動的に過ごしたくなる

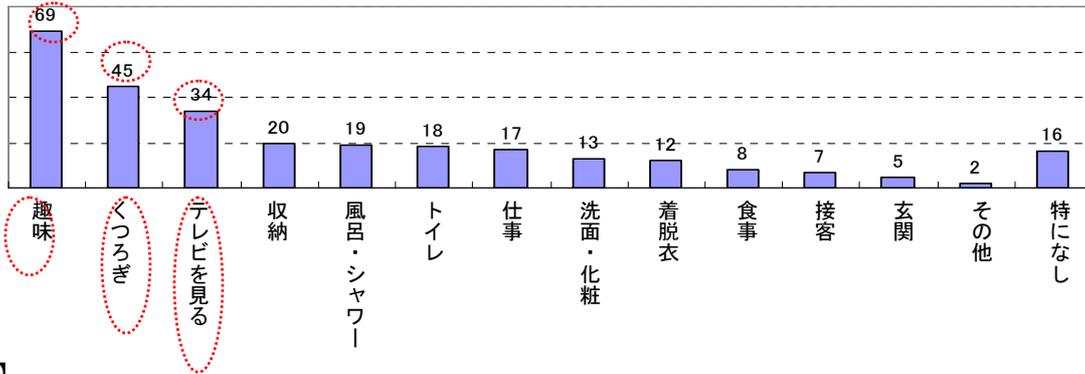
5. 専用に欲しい空間・行為と寝室の希望

専用に欲しい空間や行為については「趣味」**69%**「くつろぎ」**45%**「テレビを見る」**34%**、男性より女性で専用にしたい希望が高くなっています。

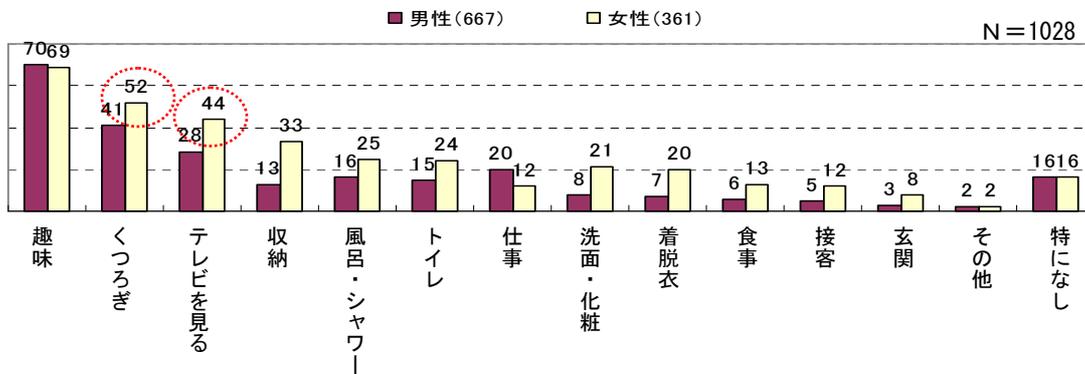
夫婦寝室の現状は「一緒派」が59%、「別々派」が41%ですが、希望は「一緒派」が53%に減り、「別々派」が47%に増加。特に女性で別々の希望が強くなっています。女性の「別々派」は55~59歳56%、60~64歳61%、65歳以上70%。高齢層ほど別々を要望しています。

■ 専用に欲しい空間・行為

N=1028



【性別】

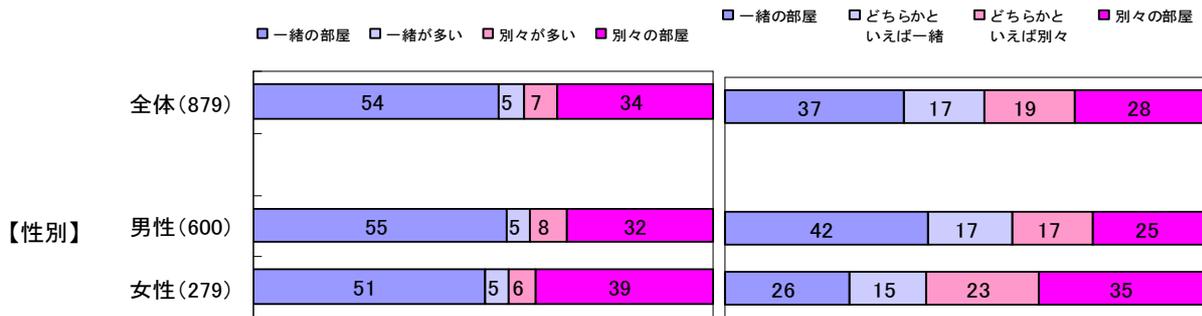


女性の方が専用にしたい希望が高い

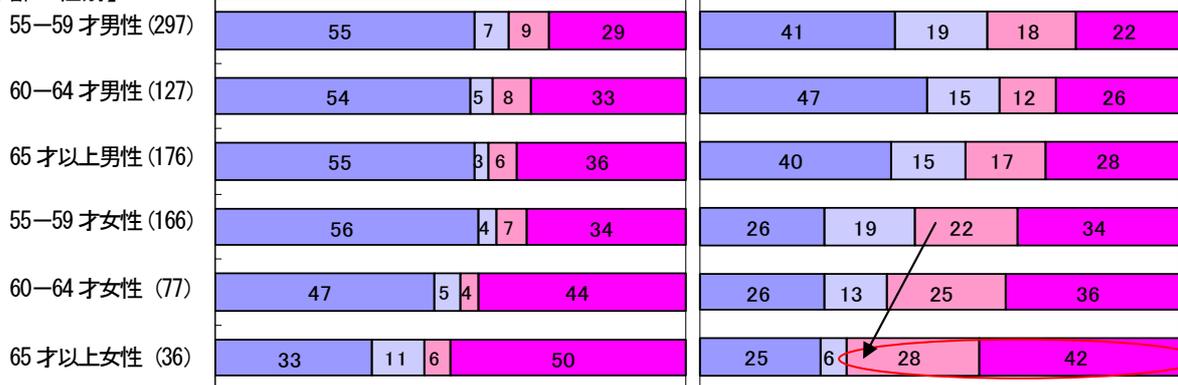
■ 寝室の現状と希望

【夫婦寝室/現状】

【夫婦寝室/希望】



【年齢×性別】

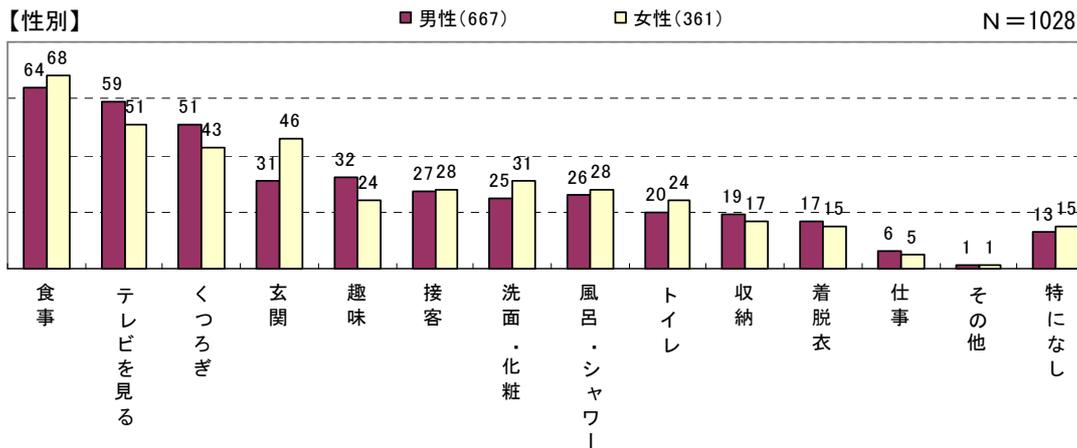
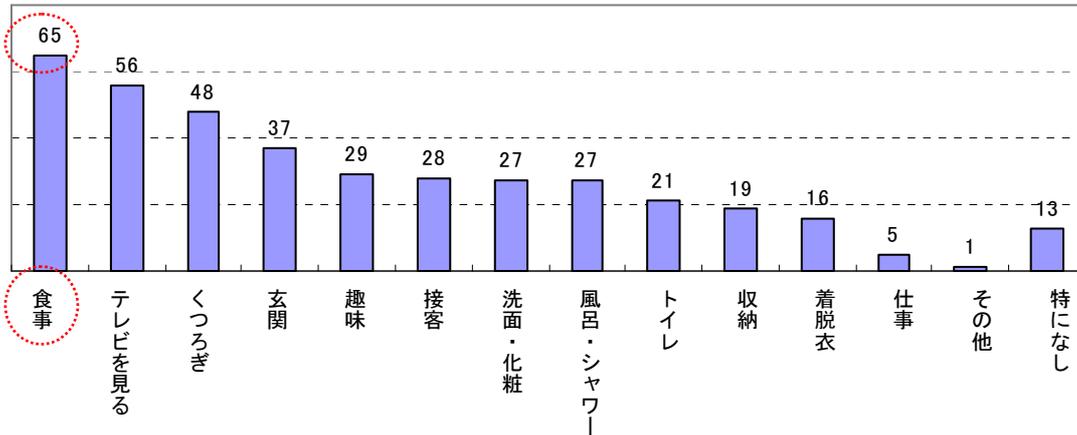


高齢の女性ほど、別々の寝室を希望

6. 共有・一緒によい空間

共有あるいは一緒でもよい空間・行為として「食事」65%、「テレビを見る」56%、「くつろぎ」48%。男性では「食事」64%、「テレビを見る」59%、「くつろぎ」51%、女性では「食事」68%、「玄関」49%となっています。専用空間と重ならない夫婦共に一緒によい空間は「食事」の場となっています。

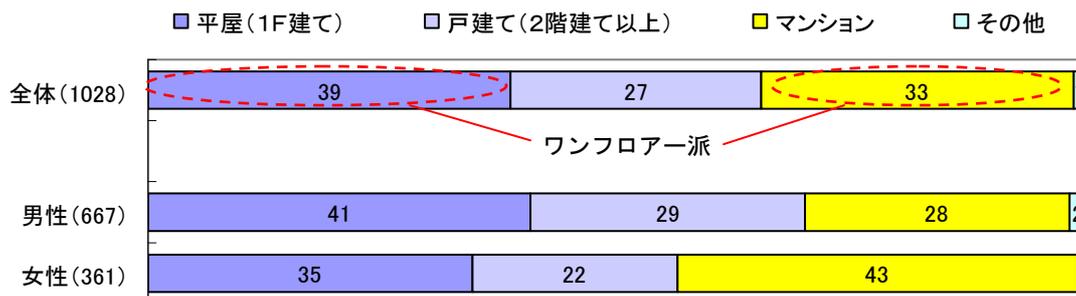
N = 1028



男女共に「食事」の場がトップ

7. 理想の住まい

理想の住まいは「平屋」39%、「戸建て(2階建て以上)」27%、「マンション」33%です。男性では「平屋派」が41%でトップ、女性は「マンション派」が43%でトップ。ワンフロアーが人気と言えます。



72%が「ワンフロアー派」